

令和7年度 岩手県立盛岡第四高等学校経営計画

校長： 川崎 広幸

1 校訓・教育目標		建学の精神を四大綱領〈誠実・敬愛・大志・真理〉として継承し、地域や社会に貢献できる知・徳・体の調和のとれた人間を育成する。	
2 ス ク ー ル ・ ポ リ シ ー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)	・新たな課題に対し自主的に取り組むことのできる生徒 ・挨拶などのマナー、生命の大切さを体得し、他者に配慮できる生徒 ・自己を適切に表現できるとともに、他者の考えを理解できる生徒 ・自ら決めた進路目標を達成することのできる生徒	
	(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)	・45分×7校時、質の高い授業 ・1年生は共通、2年生から文系・理系コース選択 ・生徒の能力や進路志望に適した細やかな支援と主体的に学習に取り組む姿勢の育成	
	(3) 入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)	・大学等の進学を目指す生徒 ・生徒会活動や部活動等に取り組んだ経験を生かし、大きい志をもって挑戦する生徒 ・新しい人間関係に目を向けて、他を思いやりながら行動する生徒	
3 魅力化協働パートナー		沖縄県立八重山高等学校、盛岡広域振興局、岩手大学、盛岡大学、盛岡という星で、岩手日報社 他	
4 目 指 す 学 校 像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	達成指標
		ア 基本的な学力の向上と自ら学ぶ力の養成	授業により十分な学力を身に付けていると回答する生徒の割合【80%】
		イ 進路指導とキャリア教育の充実	国公立大学に進学する生徒の割合【45%以上】
		ウ 生徒が達成感・充実感・やりがいを感じることでできる高校生活	本校で充実した学校生活を送っていると回答する生徒の割合【80%以上】
		エ 教職員のスキルアップ	授業に満足していると回答する生徒の割合【80%以上】
		オ 学校いじめ対策組織の取り組みを中核としたいじめの防止	学校は生徒の悩みを聞き相談にのってくれると回答する生徒の割合【80%以上】
		カ 生徒を尊重し、不適切な指導を根絶する体制の構築	安全で健康的な学校生活を送っていると回答する生徒の割合【85%以上】
	(2) 取組方針	ア 基本的な学力の向上と自ら学ぶ力の養成 (ア) 基礎学力を基盤とし、自ら考え、粘り強く実行する能力の育成 (イ) 上記(ア)に向けての適切な家庭学習の推進	
		イ 進路指導とキャリア教育の充実 (ア) 自ら将来像を描けるようなキャリア教育の推進 (イ) 新課程入試制度への対応及びの情報提供と対応できる実践力の養成	
		ウ 生徒が達成感・充実感・やりがいを感じる高校生活 (ア) 学習や部活動等を通し生徒が自ら成長を感じられる指導の工夫 (イ) 社会貢献活動等への参加をととした豊かな人間性の育成	
		エ 教職員のスキルアップ (ア) 生徒による授業の評価結果の検証に基づく授業改善 (イ) 互見授業及び意見交換、研修受講等をととした授業改善	
		オ 学校いじめ対策組織の取り組みを中核としたいじめの防止 (ア) 充実感を得られる授業や学級経営を通して「居場所づくり」を進める (イ) 行事等での共同的な活動を通して「絆づくり」を進める	
		カ 生徒を尊重し、不適切な指導を根絶する体制の構築 (ア) 部活動指導者研修を受講するなど、岩手モデルの理解を推進する (イ) 生徒個々を尊重した指導法の理解を推進し、実践する	